



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年7月29日

上場取引所 東

上場会社名 アコム株式会社

コード番号 8572 URL https://www.acom.co.jp/corp/ir/

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼会長 (氏名) 木下 盛好

問合せ先責任者 (役職名) 広報・IR室長 (氏名) 岡本 貴史 (TEL) 03-5533-0861

四半期報告書提出予定日 2019年8月14日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (国内機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	69,735	2.5	24,959	8.2	24,231	4.4	26,670	40.6
2019年3月期第1四半期	68,049	7.2	23,060	27.9	23,215	26.3	18,965	16.0

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 31,646百万円(72.8%) 2019年3月期第1四半期 18,318百万円(7.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	17.02	—
2019年3月期第1四半期	12.11	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	1,245,846	406,357	30.8
2019年3月期	1,301,908	381,501	27.4

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 384,052百万円 2019年3月期 356,174百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	1.00	—	1.00	2.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	2.00	—	2.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	138,000	0.5	44,700	△6.8	44,900	△6.9	40,500	1.7	25.85
通期	275,500	△0.6	87,600	52.1	87,900	51.0	75,500	99.8	48.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2020年3月期1Q	1,596,282,800株	2019年3月期	1,596,282,800株
2020年3月期1Q	29,668,592株	2019年3月期	29,668,592株
2020年3月期1Q	1,566,614,208株	2019年3月期1Q	1,566,614,208株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法について)

当社は、2019年7月29日(月)に国内機関投資家・アナリスト向け電話会議を開催する予定です。なお、この電話会議で使用する決算補足説明資料は、決算発表後速やかに当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結損益計算書関係)	9
(企業結合等関係)	10
3. 【参考】四半期財務諸表(個別)	11
(1) 【参考】四半期貸借対照表(個別)	11
(2) 【参考】四半期損益計算書(個別)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費の持ち直しや雇用・所得環境の改善が続くなかで、政府による各種政策もあり、緩やかな景気回復が期待されています。一方、海外経済の動向と政策の不確実性、金融資本市場の変動の影響など、景気を下押しする可能性が、引き続き存在しております。

当ノンバンク業界においては、市場規模が緩やかに拡大しております。一方、利息返還請求は着実に減少していますが、外部環境の変化等の影響を受けやすいことから、引き続き動向に留意する必要があります。

このような中、当社グループは、「一人でも多くのお客さまに最高の満足を感じていただき、個人ローン市場において社会に信頼されるリーディングカンパニーを目指す」という経営ビジョンを掲げております。当期を初年度とする中期経営計画では、「環境変化にスピード感をもって対応し、持続的成長と企業価値の向上を図るとともに、お客さまの期待を超えるサービスを創出する」という中期経営方針の下、中核3事業と位置付けているローン・クレジットカード事業、信用保証事業、海外金融事業の業容拡大をはかるとともに、市場の健全な発展に寄与してまいります。

当第1四半期連結累計期間における営業収益は、営業貸付金利息や包括信用購入あっせん収益の増加を主因に697億3千5百万円（前年同期比2.5%増）となり、営業費用が金融費用の減少などにより447億7千6百万円（前年同期比0.5%減）となったことから、営業利益は249億5千9百万円（前年同期比8.2%増）、経常利益は242億3千1百万円（前年同期比4.4%増）となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、連結子会社であったPT. Bank Nusantara Parahyangan, Tbk.の株式を売却したことにより、特別利益に98億7千5百万円、同社の合併関連費用を主因として特別損失に23億7千4百万円を計上したことから、266億7千万円（前年同期比40.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における財政状態は、前連結会計年度末に比べ総資産は560億6千1百万円の減少、純資産は248億5千5百万円の増加となりました。資産、負債、純資産の増減状況は次のとおりであります。なお、当該増減には、連結子会社であったPT. Bank Nusantara Parahyangan, Tbk.を連結の範囲から除外したことによる影響が含まれております。

(資産の部)

資産の部については、流動資産が501億3千9百万円の減少、固定資産が59億2千1百万円の減少となり、資産合計では560億6千1百万円の減少となりました。流動資産の主な増減内容は、銀行業貸出金（483億3千1百万円）、現金及び預金（118億9千8百万円）などの減少、営業貸付金（146億5千万円）、割賦売掛金（31億3千2百万円）の増加であります。また、固定資産の主な減少内容は、投資有価証券（30億7千8百万円）、繰延税金資産（18億6千1百万円）などであります。

(負債の部)

負債の部については、流動負債が551億3千1百万円の減少、固定負債が257億8千5百万円の減少となり、負債合計では809億1千7百万円の減少となりました。主な減少内容は、銀行業預金（523億1千9百万円）、借入金・社債などの資金調達残高（136億6千万円）、利息返還損失引当金（80億5千8百万円）などであります。

(純資産の部)

純資産の部については、利益剰余金の増加により株主資本が251億4百万円の増加、為替換算調整勘定の増加によりその他の包括利益累計額が27億7千4百万円の増加、非支配株主持分が30億2千2百万円の減少となり、純資産合計では248億5千5百万円の増加となりました。この結果、自己資本比率は3.4ポイント増加し30.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当連結会計年度の通期連結業績見通しについては、2019年5月14日に公表いたしましたとおり、営業収益2,755億円、経常利益879億円、親会社株主に帰属する当期純利益755億円を見込んでおります。

なお、業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報等に基づいて作成したものであります。しかしながら、当社グループの事業展開上リスクとなる可能性がある要素が複数存在しており、とりわけ利息返還請求の動向は、外部環境の変化等に影響を受けやすいことから特に不確実性が高く、その影響として利息返還損失引当金繰入額を計上する場合があります。

最終の業績はこれらのリスクを含むさまざまな要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	85,546	73,647
営業貸付金	1,000,428	1,015,078
銀行業貸出金	48,331	—
割賦売掛金	63,740	66,873
買取債権	9,435	9,344
有価証券	479	—
原材料及び貯蔵品	64	40
その他	91,327	85,535
貸倒引当金	△76,532	△77,838
流動資産合計	1,222,821	1,172,682
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,791	3,679
器具備品（純額）	9,606	9,709
土地	3,196	3,123
その他（純額）	1,269	1,132
有形固定資産合計	17,864	17,644
無形固定資産		
のれん	3,250	3,046
ソフトウェア	5,387	5,046
その他	50	50
無形固定資産合計	8,687	8,143
投資その他の資産		
投資有価証券	4,247	1,169
退職給付に係る資産	3,898	3,646
繰延税金資産	36,117	34,256
差入保証金	5,035	5,011
その他	4,266	4,324
貸倒引当金	△1,032	△1,032
投資その他の資産合計	52,534	47,376
固定資産合計	79,086	73,164
資産合計	1,301,908	1,245,846

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	509	501
短期借入金	11,547	13,480
コマーシャル・ペーパー	39,998	49,996
1年内返済予定の長期借入金	146,714	132,551
1年内償還予定の社債	41,519	47,324
銀行業預金	52,319	—
未払法人税等	7,772	4,957
債務保証損失引当金	9,661	9,051
資産除去債務	10	106
割賦利益繰延	42	40
その他	16,728	13,680
流動負債合計	326,824	271,692
固定負債		
社債	202,691	181,155
長期借入金	282,671	286,973
繰延税金負債	28	—
役員退職慰労引当金	25	26
利息返還損失引当金	102,300	94,241
退職給付に係る負債	338	361
資産除去債務	4,159	4,066
その他	1,366	971
固定負債合計	593,581	567,796
負債合計	920,406	839,489
純資産の部		
株主資本		
資本金	63,832	63,832
資本剰余金	73,549	73,549
利益剰余金	237,058	262,162
自己株式	△19,794	△19,794
株主資本合計	354,646	379,750
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△0	△0
為替換算調整勘定	2,832	5,478
退職給付に係る調整累計額	△1,304	△1,176
その他の包括利益累計額合計	1,528	4,302
非支配株主持分	25,327	22,304
純資産合計	381,501	406,357
負債純資産合計	1,301,908	1,245,846

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
営業収益		
営業貸付金利息	41,749	43,300
銀行業貸出金利息	1,474	1,567
包括信用購入あっせん収益	1,825	2,146
個別信用購入あっせん収益	18	16
信用保証収益	15,140	14,879
買取債権回収高	1,097	999
その他の金融収益	221	193
その他の営業収益	6,522	6,632
営業収益合計	68,049	69,735
営業費用		
金融費用	2,942	2,640
債権買取原価	412	406
その他の営業費用	41,633	41,729
営業費用合計	44,988	44,776
営業利益	23,060	24,959
営業外収益		
受取利息	54	51
受取配当金	15	24
持分法による投資利益	3	2
受取家賃	70	67
その他	77	50
営業外収益合計	221	196
営業外費用		
支払利息	8	6
為替差損	57	916
その他	1	0
営業外費用合計	67	923
経常利益	23,215	24,231

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
特別利益		
固定資産売却益	13	0
関係会社株式売却益	—	9,875
特別利益合計	13	9,875
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	15	10
投資有価証券評価損	6	—
合併関連費用	—	2,363
その他	1	0
特別損失合計	23	2,374
税金等調整前四半期純利益	23,205	31,732
法人税、住民税及び事業税	2,849	3,247
法人税等調整額	218	1,283
法人税等合計	3,068	4,531
四半期純利益	20,137	27,200
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,172	530
親会社株主に帰属する四半期純利益	18,965	26,670

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	20,137	27,200
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	△0
為替換算調整勘定	△1,808	4,290
退職給付に係る調整額	△9	155
その他の包括利益合計	△1,818	4,446
四半期包括利益	18,318	31,646
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	17,687	29,445
非支配株主に係る四半期包括利益	630	2,201

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

特別損失の「合併関連費用」は、連結子会社でありましたPT. Bank Nusantara Parahyangan, Tbk.において、PT Bank Danamon Indonesia, Tbk.との合併に係る費用として計上した退職金2,158百万円、事務所閉鎖費用68百万円及び在庫廃棄費用等136百万円であります。

(企業結合等関係)

当社は、2019年3月15日開催の取締役会決議に基づき、連結子会社でありましたPT. Bank Nusantara Parahyangan, Tbk. (以下バンクビーエヌピー)の株式を、2019年4月29日に株式会社三菱UFJ銀行(以下三菱UFJ銀行)が実施したキャッシュオフアーに応じ、全株式売却いたしました。なお、本株式売却に伴い、バンクビーエヌピーを当社の連結の範囲から除外しております。

1. 株式売却の概要

(1) 株式売却の相手先企業の名称

三菱UFJ銀行

(2) 売却した連結子会社の事業の内容

インドネシア共和国における銀行業

(3) 株式売却の理由

当社は、インドネシアが東南アジア最大の人口を有しており、リテール金融分野のマーケット成長性が期待できることから、無担保個人ローン事業が認められる銀行形態により進出いたしましたが、三菱UFJ銀行のPT Bank Danamon Indonesia, Tbk. (以下バンクダナモン)への戦略出資を受け、インドネシア共和国バンドン市でのバンクビーエヌピーの有する顧客基盤に対し、バンクダナモンの包括的なサービスが提供可能となるなど、MUFJグループとして多くの相乗効果が見込まれることなどから、全株式の売却に至りました。

(4) 株式売却日

2019年4月29日

(5) 法的形式を含む取引の概要

受取対価を現金とする株式の売却

2. 実施した会計処理の概要

(1) 売却益の金額

9,875百万円

(2) 売却した連結子会社に係る資産及び負債の適正な帳簿価額並びにその主な内訳

流動資産	61,673	百万円
固定資産	2,769	〃
資産合計	64,443	〃
流動負債	56,324	〃
固定負債	—	〃
負債合計	56,324	〃

(3) 会計処理

バンクビーエヌピーの連結上の帳簿価額と売却価額との差額を特別利益の「関係会社株式売却益」に計上しております。

3. 連結子会社が含まれていた報告セグメント

海外金融事業

4. 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に計上されている売却した連結子会社に係る損益の概算額

営業収益	1,829百万円
営業利益	△38百万円

3. 【参考】四半期財務諸表（個別）

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府第63号）に基づいて作成しております。

(1) 【参考】四半期貸借対照表（個別）

(単位：百万円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	72,826	74,845
営業貸付金	821,943	831,990
割賦売掛金	63,137	66,264
原材料及び貯蔵品	34	32
求償債権	52,608	53,960
その他	21,380	19,681
貸倒引当金	△58,410	△60,220
流動資産合計	973,522	986,555
固定資産		
有形固定資産	16,869	16,890
無形固定資産	7,886	7,392
投資その他の資産		
繰延税金資産	36,919	33,956
前払年金費用	5,458	5,208
その他	30,852	24,309
貸倒引当金	△990	△980
投資その他の資産合計	72,240	62,494
固定資産合計	96,996	86,777
資産合計	1,070,518	1,073,332
負債の部		
流動負債		
買掛金	494	490
コマーシャル・ペーパー	39,998	49,996
1年内返済予定の長期借入金	134,718	125,943
1年内償還予定の社債	28,000	33,000
未払法人税等	5,348	1,559
債務保証損失引当金	8,850	8,240
資産除去債務	10	106
その他	12,899	11,158
流動負債合計	230,319	230,494
固定負債		
社債	163,000	148,000
長期借入金	258,876	257,176
利息返還損失引当金	102,300	94,241
資産除去債務	3,901	3,803
その他	1,329	936
固定負債合計	529,406	504,157
負債合計	759,726	734,652
純資産の部		
株主資本		
資本金	63,832	63,832
資本剰余金	76,010	76,010
利益剰余金	190,743	218,630
自己株式	△19,794	△19,794
株主資本合計	310,792	338,679
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△0	△0
評価・換算差額等合計	△0	△0
純資産合計	310,792	338,679
負債純資産合計	1,070,518	1,073,332

(2) 【参考】四半期損益計算書(個別)

第1四半期累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
営業収益		
営業貸付金利息	30,632	31,388
包括信用購入あっせん収益	1,825	2,146
信用保証収益	12,632	12,280
その他の金融収益	21	0
その他の営業収益	5,104	5,118
営業収益合計	50,215	50,933
営業費用		
金融費用	1,452	1,194
その他の営業費用	31,576	31,549
営業費用合計	33,028	32,744
営業利益	17,187	18,188
営業外収益		
受取利息	15	3
受取配当金	3,449	6,068
その他	142	115
営業外収益合計	3,607	6,187
営業外費用		
支払利息	8	6
為替差損	37	916
その他	0	0
営業外費用合計	46	923
経常利益	20,747	23,452
特別利益		
固定資産売却益	0	—
関係会社株式売却益	—	10,824
特別利益合計	0	10,824
特別損失		
固定資産除却損	13	10
投資有価証券評価損	6	—
その他	1	0
特別損失合計	20	10
税引前四半期純利益	20,726	34,266
法人税、住民税及び事業税	1,284	1,848
法人税等調整額	398	2,963
法人税等合計	1,682	4,811
四半期純利益	19,044	29,454